

メキシコにおけるニアショアリングの影響

- メキシコでは近年、ニアショアリング（注）の影響により、外国直接投資の受け入れが活況。USMCAも後押しし、トランプ関税下の2025年も408.7億ドルと過去最高を更新した。
- 日本からメキシコへの投資は2024年まで増加傾向にあったが、2025年以降減速した。トランプ関税やUSMCA見直しなどの不確実性を受け、投資判断に慎重な日本企業の姿勢がうかがえる。

メキシコにおける外国直接投資受入額
（国際収支ベース、ネット、フロー、年別）

（100万ドル）



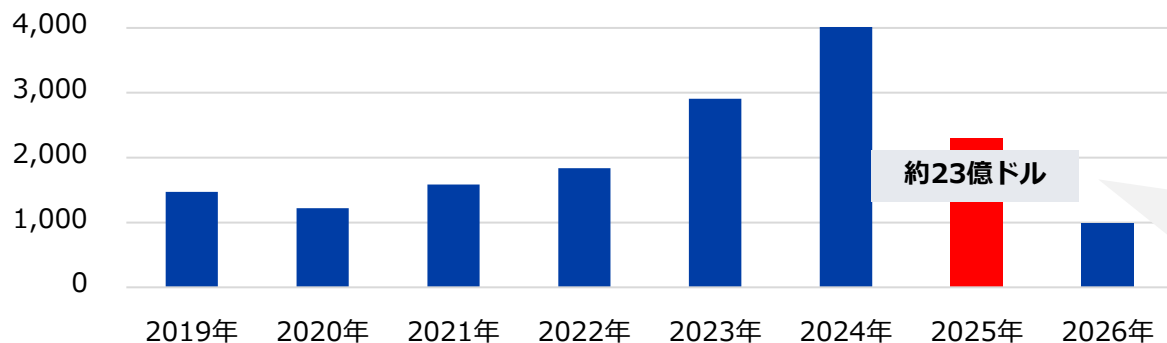
（注）ここでは、米国市場に近接するメキシコへ、企業が既存の事業拠点を移す動きを指す

うち、およそ36%を占める148億ドルが
「**製造業**」への投資

その中でも、約半分の68億ドルが
「**自動車産業**」への投資

日本からメキシコへの外国直接投資額
（国際収支ベース、ネット、フロー、年別）

（100万ドル）



うち、およそ94%を占める21億ドルが
「**製造業**」への投資

その中でも、8割以上の18億ドルが
「**自動車産業**」への投資

ただし、「新規投資」ではなく、
既進出企業による「利益の再投資」
などが中心

（注）2026年3月末確認分。

（出所）メキシコ経済省外国投資局の当初発表値（Cifras originalmente publicadas）からジェトロ作成。